

No.740 July 2018

ASAHI MACHI



◎ 広報 あさひまち

2018
7

No. 740



今年もあと半年、仲良く健康に…



▲利用者 10 万人目の
昂くんには、遠藤セン
ター長から特別な記
念品が贈呈された

▲立ち会った子どもた
ち全員に、メダルと
お菓子のプレゼント

開所から 8 年、町内外から多くの利用者

7月2日、「子育て支援センターあさひ」が利用者数10万人を達成しました。平成22年4月、3保育園を統合し新たに整備されたあさひ保育園と共に、町の子育て拠点施設として開所した「子育て支援センターあさひ」。主に保育園入園前の乳幼児とその保護者などを対象に、自由に遊べる遊具スペース等を開放し、子育て仲間や子どもたち同士の交流の場として親しまれています。

祝賀セレモニーでは、鈴木浩幸町長と当センター長兼あさひ保育園の遠藤康男園長が「開所から約8年。単純計算でも、1年で1万人以上の多くの方が当施設をご利用くださったことになる。感謝を申し上げるとともに、これからも気軽に、そして存分にご利用いただきたい」とあいさつ。

その後、この度10万人目の利用者となった八巻昂くん（大隅）と前後賞の大瀧翔太くん（大谷六）、渡部心彩ちゃん（寒河江市）に記念品が贈呈されたほか、この日訪れていた子どもたち全員に、折り紙のメダルとお菓子袋がプレゼントされました。

「子育て支援センターあさひ」利用者10万人を達成

○子育て支援センターあさひ

- ▶開館時間 9:30～16:45
- ▶休館日 毎週木曜日、第3日曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他 健診日等
- ▶利用料 無料
- ▶イベントデー たいそうの日（毎週月曜）、えほんの日（水曜不定期）、たんじょう会（月1回／最終金曜）、わくわくの日（月1～2回）

週に1度は訪れ、ホールの大きな滑り台で遊ぶのが大好きという昂くん。お母さんの幸さんは、「ここに来ると家ではできない遊具遊びも安全にできるし、友だちもいるので子どもたちも嬉しそう。過ごしやすい施設に感謝しています」と話していました。

子育て支援センターあさひは、あさひ保育園と隣接し、乳幼児から小学校低学年までのお子さんと保護者に向けて開放されている子育て交流施設です。利用料無料で、町内外問わず利用可能。イベントデーや読み聞かせなど、毎月楽しい企画も実施しています。どうぞ気軽にお越しください。

▶問合せ先 子育て支援センターあさひ ☎67-2268 /健康福祉課 子育て支援係 ☎67-2132

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
「子育て支援センターあさひ」利用者 10 万人を達成
- P4 特集
朝日町の学校給食
- P8 町政スポット
・町職員採用試験案内
・朝日町交通安全町民大会 ほか
- P10 朝日中2年生職場体験学習「キャリアスタートプロジェクト」
- P12 まちレポ
・「涼」を味わう流しそうめん
・西部公民館に西山杉のベンチを寄贈
・環境講演会「今ある環境を次世代へ」 ほか
- P15 岩崎孝彦氏 朝日町立病院に絵画等 21 点を寄贈、各種大会の成績
- P16 住人十色
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアム サテライト散策、戸籍のまど、となりのリンゴさん、「朝日町鳥獣被害対策実施隊」活動日誌
- P20 あさひまちアップルミートマラソン&ウォーキング

表紙の写真



1年の折り返しに半年分の穢れを落とし、後半の健康と厄除けを祈願する「夏越の祓」。その「茅の輪」越しに微笑む、大沼浮嶋稲荷神社宮司の最上さんご夫妻です。大沼区では3年前から同神社総代会の発案で実施している夏越の祓。茅と葦、竹などで作られた「茅の輪」を集まった区民等約10人が8の字を描くように交互にくぐり、今年もあと半年健康で過ごせるように、感謝と祈りを捧げました。（町ホームページに詳細記事）

町長歳時記 (143)

歩み続ける、その先に ～ いつか必ず きつと花開く時が来る ～

水は通常の大気圧で零度を下回れば氷になり、100度を上回れば水蒸気になる。一見至極当たり前の話で、誰も不思議に思う人はいないかもしれませんが、しかしながら、よくよくこの現象を注視してみると、非常に面白いことに気付かされます。例えばこの現象を知らない人が、99度まで加熱を続けそこで止めてしまったら、その先を見ることなく、水は加熱しても何も変わらず液体のままなのだと思ってしまう。一方もうひとつ踏ん張り加熱を続け100度を超えて水蒸気を確認した人は、劇的な変化を目の当たりにし、正しい理解を得ることができるのです。

これと似たような現象が人間の中にも確認することができます。スポーツや楽器を練習しているほとんどの人は、初めはなかなか上達しない時期が続き、真面目にあきらめず練習を続け、10,000時間を突破したところで、技術が飛躍的に伸びると言われています。このように、量が積み重なって、ある一定のレベルに達した時に、質的な変化を起こしたり、急に成績が伸びたりする。このようなことが様々な場面で見られます。

朝日町の交流人口は長い間年間30万人前後を推移してきました。それが3年前の10月に道の駅あさひまち「りんごの森」がオープンして以来、そこへ年間36万人が訪れ、町全体でも合わせて年間約70万人が訪れるようになりました。実にその数はオープン以前の倍以上です。

この成果は、長年交流観光に携わってこられた先輩たちや、りんごを初めとした町の農業産業を支えてくださった多くの先人の方々が、チャレンジ精神を持って取り組んでこられた努力と苦勞の積み重ねの上に、花開いてきたものと思います。

あきらめず、たゆまず、一步一步しっかりと歩み続けることによって、いつか必ずきつと、花開く時が来るのです。がんばりましょう。

朝日町長 鈴木浩幸



1.できたてで、野菜も色鮮やかな「あじの南蛮漬け」 2.給食当番がみんなの分を丁寧に盛り付けます 3.こぼさないように気を付けて配膳 4.感謝の気持ちを込めて手を合わせ「いただきます」！ 5.&6.おいしい給食に思わず笑顔がこぼれる児童たち

親子給食を体験して…

参加した保護者の皆さんに、実際に給食を食べてみての感想を伺いました。

「給食の〇〇がおいしかった」と家庭でもよく話題になります。今日の献立も野菜たっぷり、栄養バランスも量もしっかり考えて作られているんだなと感心しました。



浅岡 春香さん
愛こちゃん



富樫 千鶴さん
颯仁くん

旬の素材が使われていて、とてもおいしかったです。息子もお家だと好きなものしか食べないことが多いのですが、給食だと何でも頑張って食べていて、まるで別人みたいです。

野菜の色がきれいで本当にできただということ分かるし、学校で炊いてくれているというお米が特においしいです。娘も「いつもおかわりするんだ」と笑顔で話してくれます。



松田 由美子さん
依知佳ちゃん

特集

おいしく食べて、健康な体と心を育てる
朝日町の学校給食

町の子どもたちが口頃食べている「給食」。朝日町では町内3小学校全てに調理室が整備され、いつもできたてのおいしい給食が味わえます。今までは、子どもたちの健やかな成長を育む「学校給食」の取り組みについて特集。そのおいしさの秘密と、飽食の時代だからこそ大切な「食育」について考えます。

「親子給食」で保護者も学ぶ

「にんじん苦手なのに食べれたね」「すごい！おかわりしてる」

6月21日、宮宿小学校の1年生とその保護者を対象に「親子給食」が実施されました。子どもたちが日頃食べている給食を、保護者の皆さんにも一緒に味わってもらうと共に、学校給食の取り組みについて理解を深めてもらう目的です。

この日の主菜は、魚に野菜もたっぷりの「あじの南蛮漬け」。お家ではなかなか食べられない苦手な野菜も進んで食べる子どもたちの姿に、驚くお母さんもいました。

「調理法や味付けを工夫しているんです」と、町内3小学校の献立および食育を担当する

する橘綾子栄養教諭。「給食も大切な「教育活動の一環」です。動物や植物の命であるすべての食材、生産者や調理に関わる方に感謝して、おいしく食べてほしい。その積み重ねが子どもたちの食習慣、更には心と体の健康にもつながっていきます」

ただし、給食で補えるのは1日に必要な栄養素の約3分の1。また、年間で換算すると全体の17%（1日3食×365日、年間の給食実施予定数189回で換算）ほどです。「だから一番はご家庭での食事。今健康だから良いのではなく、この先もずっと元気でいられるように、食べることの大切さを一緒に伝えていきたいと思います」。橘さんの言葉に、保護者の皆さんも大きく頷いていました。

給食のはじまり

学校給食は明治22年、山形県鶴岡町（現鶴岡市）の小学校で実施されたのがはじまりとされています。

町では、昭和34年に大谷小・中学校で完全給食（※）が開始され、昭和42年には、ほぼ町内全域に行き渡りました。当時の町広報誌（同年2月号）では、小林富蔵教育長が「都市部に比べて見劣りする子どもたちの体位（体格）を是正するには、完全給食以外にない」と、主に健康・栄養面から給食の重要性を訴えています。また、「次年度より専門職たる栄養士が教育委員会に置かれる」とあり、給食の普及とともに町をあげて「食育」に取り組む意欲を見せています。

栄養補助から食育へ

全国でも、昭和29年に「学校給食法」が制定。戦後の子どもたちの栄養不足を補う目的のほか、食への理解と正しい習慣を養うという教育的役割が指定されました。

近年では、平成16年に栄養教諭法、翌17年に食育基本法が創設。学校給食法にも平成20年に「食育の推進」が明記され、豊かな時代だからこそ、昔ながらの食文化の継承や地域食材に親しむ大切さを伝える「教材」としての役割が大きくなっています。

（※）主食、おかず、牛乳すべてを提供する給食



◀昭和42年、和合小学校の給食風景（同年2月の町広報誌より）

○親子給食（6月21日）の献立

▶ごはん、牛乳、あじの南蛮漬け、ジャーマンポテト、小松菜（もやし、しめじ）のみそ汁、桃のゼリー





▲献立作成委員会の様子。約2カ月先の月間献立について、栄養教諭の提案を元に意見を出し合う

▶月に1度の「ふるさと給食」。季節によって町特産のあけびやダチョウ肉、あつぷるニュー豚を使ったメニューが出ることも(写真はダチョウ肉のキーマカレー)



町内3小学校と中学校の給食献立、食育を担当
橘 綾子 栄養教諭

学校給食を支える皆さんの取り組み

子どもたちの「食の自立」のために

学校給食の献立は、毎月実施している「献立作成委員会」で決定します。栄養教諭と各学校の調理師、給食主任が参加し、各校の現状を反映しながら、メニューや予算、調理法等の摺り合わせを行います。毎月食育の日(19日を基準)には、地元農家や事業所と協力し、町の旬の食材や郷土料理を提供する「ふるさと給食」を実施。その他、既製(加工)品を使う場合はサンプルを準備し、分量や栄養素、味についても検討します。

「朝日町の調理師さんは非常に熱心で、『これなら手づくりできる』と逆に提案を受けることも多いです」と橘栄養教諭。すべては子どもたちのおいしい笑顔のために、みんなでお話を絞っています。

家庭でも学校でも
おいしく楽しい「食の経験」を
多くの人の手がかかり、その努力で維持されている学校給食。しかし、「お家で食べる習慣のないものは、給食でも箸が進まない」とい

う子が多いのも事実です。毎日の勉強と同じで、「食も経験」。日々の積み重ねが食の選択肢を広げ、子どもたちの生涯にわたる健康につながっていきます。家庭でも学校でも、様々な食材や料理にチャレンジする機会が、数多くあることが大切なのです。

そして何より、家族や仲間と食卓を囲む楽しさを知ること。体だけではなく、人とのつながりを通して豊かな心を育てる「食育」について、改めて見直してみませんか。

感謝の心も育てる「自校給食」
宮宿小学校では3人の調理師が、毎日約200食の給食を調理しています。他2校も同様に、校内調理場で作る「単独調理場方式(単独方式)」。米飯も学校で炊く「自校炊飯」で、お米は町産のはえぬきが使われています。

「一番はやっぱり安心、安全、そしておいしい給食を作ること。手づくりのものを、できたてで食べてほしいから、いつも時間いっぱいまで調理しています」と、調理師の皆

さん。温かいものは温かく、冷たいものは冷たいベストの状態を提供できるのが単独方式の特長。そのおししさはもちろん、身近に「作り手の顔が見える」ことで、子どもたちには自然と感謝の心が芽生えるようです。「直に言葉を交わせるから、お礼やあいさつ、苦手なものも『頑張って食べたよ』って笑顔で伝えてくれる。今の環境がすごく大切だと感じます」

一方、学校給食を取り巻く環境は、経費削減や合理化を目的とし

て、全国的に「共同調理場(給食センター)方式」への移行が進んでいます。県内でも、単独方式かつ自校炊飯を行っている公立小学校は23・1%(下表参照)と、決して多くはありません。

各校の実情に合わせて臨機応変に
単独方式給食の利点としては、他にも「町(県)産の食材を優先的に使える」ことや「各校の行事や状況に合わせた臨機応変な対応が可能」などの点が挙げられます。



▲宮宿小学校で給食の調理を担当している(左から)熊谷尚子さん、鈴木和子さん、佐竹充子さん

◀給食時間の午後12時25分ギリギリに炊き上げ、保温箱に移される米飯。いつも湯気が立つほど温かいご飯が食べられる

▼見事に完食、きれいな食器



学校給食の試食会 給食フェア

「朝日町産業まつり」内で、どなたでも町のおいしい給食を試食できる「給食フェア」を開催しています。今年(11月17日)に実施の整理券の配布など、詳細は「お知らせ板」やイベントチラシで告知します。



生後6カ月からの離乳食給食

あさひ保育園では、園児はもちろん、未満1歳保育でも「離乳食給食」を実施。成育状況によって3段階、また、アレルギーにも配慮した献立を町の管理栄養士が提案し、園内の調理室で調理されています。



近隣調理で安心 中学校給食

朝日中学校の給食は、学校にほど近い「りんご温泉(旬地球耕望)」の調理場で調理され、温かいうちに生徒たちの元へ届けられています。



小学校だけじゃない！
町の「給食」の取り組み

○統計でみる「学校給食の現況」

調査対象	完全給食を実施する公立小学校における「自校炊飯」実施割合	学校給食における地場産物の利用割合
朝日町	100%	48.1%
山形県	23.1%	45.8%
全国	—	25.8%

参考：山形県学校給食の現況(H28年5月1日現在速報版)、H29年度学校給食における県産農林水産物の利用状況調査(県調べ)、H28年学校給食栄養報告調査結果(文部科学省調べ)

町民みんなで交通事故のない安全なまちづくりを 朝日町交通安全町民大会

■総務課 防災係 ☎67-2111



平成26年10月より、交通事故ゼロの記録を維持している当町。更なる記録更新と事故のない安全なまちづくり推進のため、町交通安全町民大会が6月13日、創遊館ホールで開催され、町交通安全推進協議会会員ほか一般町民など約300人が参加しました。



あさひ保育園長組「かもしかクラブ」による開会セレモニーで幕を開けた当大会。はじめに寒河江警察署の佐藤景三署長が祝辞と今年度の交通事故発生状況を報告。その後、二

社）日本損害保険協会講演会講師である平島正氏が「飲酒運転防止」をテーマに講演しました。平島氏は、飲酒運転による痛ましい事故について実例を交えて語り、「飲酒運転撲滅のために自己管理はもちろん、企業や職場をあげて対策を講じ、意識向上に取り組むことが大切である」と訴えました。

大会では他に、日頃の交通事故防止に対する功績を称え、村山建設㈱、大東建設㈱、安藤左官の各代表へ町交通安全推進協議会長より表彰状を贈呈。最後に「交通死亡事故ゼロ決意表明」と「大会宣言」の唱和と採択をもって、交通事故のない明るいまちづくりの誓いを確認しました。

寄付採納報告

■まちづくり寄付金として 金員 300万円

5月7日、町出身者（前田沢）である柴田五郎氏のご遺族の方々より、まちづくり寄付金として金員300万円が採納されました。

ご遺族の皆さまは、「離れた後も町に愛着を持ち、毎年和合平のりんごを取り寄せていた父の意向です。今後の朝日町の振興発展に有効に活用していただけることを望みます」と話していました。



行政相談委員 柴田智子氏に感謝状

■税務町民課 町民係 ☎67-2119



▲6月8日、表彰の報告に訪れた柴田氏（右）と寒河江西村山地区行政相談委員協議会長の今野要一氏（中央）

5月29日、山形行政監視行政相談センター所長感謝状の贈呈式が山形市で行われ、当町の行政相談委員、柴田智子氏（西町）が表彰を受けました。

総務大臣により委嘱されるボランティアで、行政機関や行政法人等の業務に対する苦情や相談に応じる行政相談委員。柴田氏は日頃の相談対応のほか、寒河江西村山地区行政相談委員協議会の幹事としても業務に尽力し、この度その功績が認められたものです。

平成 31 年 4 月 1 日付採用

町職員採用試験案内

職種	上級行政	初級行政	看護師	薬剤師
採用予定人員	若干名	若干名	若干名	1名
職務内容	行政事務に従事		朝日町立病院に勤務し、試験区分の免許を必要とする業務に従事	
年齢要件	平成元年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、大学卒業程度の学力を有する方	平成元年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方 （※4年制大学を卒業の方は受験できません）	看護師の免許を有する方、または平成31年5月までに当該免許を取得する見込みの方	平成元年4月2日以降に生まれた方で、薬剤師の免許を有する方、または平成31年5月まで当該免許を取得する見込みの方
住所要件	採用後、特別な理由がある場合を除き、朝日町内に居住できる方			
試験日程	【一次試験】教養及び専門試験、職場適応性検査 ・期日…9月16日（日） 場所…創遊館 【二次試験】作文、面接試験 ・一次試験合格者を対象に後日実施		9月中に作文、面接試験を実施	
受験手続	受験申込書等必要書類を揃え、 8月8日（水） まで、ただし看護師、薬剤師については 8月31日（金） まで役場総務課へ提出（郵送の場合は同日必着）。※受験申込書は、役場総務課（2階）で直接取得、郵送による取得、町ホームページからダウンロードのいずれかにより取得してください。 ▶問合せ先 総務課 庶務係 ☎67-2111			

町民が活躍し、笑顔あふれるまちづくりを目指して

～ 若手職員が語る「わたしの仕事」～

30年度採用



清野 友麻子
（町立病院 看護師）

病棟看護師として、患者さんやご家族が安心して治療や検査を受けられるよう日々努めています。

仕事を覚えるのは大変ですが、その中でも常に笑顔をつけないこと。皆さんの気持ちに寄り添い、真心のこもった看護を提供できるような心がけています。

30年度採用



白田 択真
（総務課 主事）

町が所有する建物や物品等の管理、また、入札や工事に関する業務などを主に担当しています。

町有物をしっかり管理することで職員が働きやすくなり、それが「日本一町民の役に立つ役場」に繋がるよう、日々勉強しながら努めています。

30年度採用



鈴木 駿太郎
（健康福祉課 主事）

国民健康保険や後期高齢者医療に関わる業務を担当しています。

窓口では正確な手続きを進めるだけでなく、お越しになる方々との接し方にも気を付けています。明るく笑顔で対応することで、町民の皆さんに安心して来ていただけるような役場を目指しています。



■生徒受け入れにご協力いただいた事業所です(写真紹介以外)。ありがとうございました。

株式会社朝日相扶製作所、(有)山形朝日オーストリッチ産業センター朝日町健康工房ロイフェン、株式会社朝日自然観、JA さがえ西村山朝日営農生活センターアグリ朝日店、株式会社ヒグチ、特別養護老人ホームふれあい荘、社会福祉法人朝日敬慎会盲特別養護老人ホーム和合荘、宮宿小学校、大谷小学校(敬称略、順不同)



1. 有限会社朝日町ワイン 2. あさひ保育園 3. 株式会社ニクニアサヒ 4. グループホームあさひ 5. 道の駅あさひまち りんごの森 6. セブンイレブン宮宿店 7. 有限会社近江屋 8. 西五百川小学校



(有)朝日町ワイン

◆商品の梱包、ワイン樽の手入れなど

ワイン工場の仕事は機械作業が多いと思っていました。でも、樽で寝かせたワインのケアや検品、梱包など、人の目や手による仕事が多いと知り、勉強になりました。(堀 菜汰)

【(有)朝日町ワインより】

朝日中生は明るく前向きで、失敗してもそこから学ぶという姿勢が立派です。町を担う次の世代として、この職場体験をきっかけに地元企業にも目を向けてもらえたら嬉しいです。



あさひ保育園

◆園内清掃、園児とのふれあいなど

将来は保育関係の仕事を目指しています。実際仕事を体験してみて、もちろん大変だと感じましたが、毎日子どもたちの笑顔に出会える素敵な仕事だと思いました。(松尾実乃里)

【あさひ保育園より】

今年度は10名の生徒さんが職場体験に来てくれました。元気なあいさつと笑顔で、子どもたちに優しく接してくれました。保育の仕事の大変さややりがいを、肌で感じてくれたようです。



(有)近江屋

◆商品配達・集金、伝票づくりなど

清掃から仕入れの確認、配達、伝票づくりなど、毎日忙しくて驚きました。客商売はあいさつと気遣いが大切だということ、また一つひとつの仕事に意味があることを教わりました。(藤田 晶)

【(有)近江屋より】

仕事の楽しさだけでなく、厳しさややりがいも学んでほしいと思い、3日間あらゆる現場を体験してもらいました。緊張感を持って真剣に取り組んでくれて、教え甲斐がありました。

体験生徒と事業所の声

職場体験を通じて……

朝日中2年生職場体験学習 Career Start Project

～キャリアスタートプロジェクト～

7月4日から6日にかけての3日間、朝日中学校の2年生による職場体験学習「キャリアスタートプロジェクト」が実施されました。

朝日町では平成18年度から開始して今年で12年目。町内事業所で実際の仕事を体験し、職業観や働くことの意義、社会生活のルールやマナーなどを学習する取り組みです。

今年度は48人が、17の受け入れ事業所に分かれて活動。地域に根ざした職場体験と、日ごろ接することの少ない異世代との交流などを通じて、自分の将来や夢、社会生活を意識する第一歩を踏み出しました。



▲天気に恵まれ絶好の登山日和
▶朝日連峰にかかる7市町の山岳
会員等が期間中の安全を祈願した



6/17 青空の下、みんなでシーズンの安全を祈願 朝日連峰夏山開き

朝日連峰夏山開きの式典が6月17日、朝日連峰鳥原山の朝日獄(あさひだけ)神社で行われました。当町のほか、鶴岡、寒河江、長井、西川、大江、白鷹の7市町の山岳会や、観光団体および行政関係者など約100人が参加。神事では、各団体の代表者が玉串を奉納し、約4カ月間にわたるシーズンの安全を祈願しました。最後は参加者全員で「朝日山岳歌」を斉唱。初夏の山頂に歌声を響かせ、本格的な登山シーズンの到来を喜びました。



▲団員の証である緑のスカーフとワッ
ペンをつけて、みんなで記念撮影
◀小枝を使ったキーホルダー作り

6/26 ふるさとと自然を愛し、緑を守り育てる 朝日町緑の少年団結団式

今年で3年目となる「朝日町緑の少年団」結団式が6月26日、秋葉山で開催され、町内3小学校の4年生57人が団員に任命されました。小林教育長から団員の証となる緑のスカーフとワッペンを授与された児童たち。「ふるさとの豊かな自然を愛し、大切に守り育てる」誓いを立て、その後、体験活動として広葉樹の小枝を活用したキーホルダーづくりを行いました。今後団員の4年生は、緑を守る奉仕活動やレクリエーションなどを行っていきます。



▲色付けたジェルを瓶や透明な
カップに入れて作る芳香ジェル
◀出来上がりはとてもカラフル

6/27 天然ハーブ成分で肌にもやさしい手づくり虫よけ 「アロマでつくろう！」教室

中央公民館が主催する「アロマでつくろう！」教室が6月27日、創遊館で行われ、39人が参加しました。講師はアロマインストラクターの橋本郁子氏(橋本こどもクリニック)。アロマセラピーの効果と虫が嫌う香りについての講話の後、天然ハーブオイルを使った虫よけスプレーと虫さされジェル、親子で作れる簡単な芳香ジェルなどを手づくりしました。カラフルな芳香ジェルは香りも見ても楽しく、子どもたちも満足気な様子でした。



▲会場はお客さんで満員
▶歴史ある古民家の緑の庭を背
景に、爽やかな歌声が響いた



6/30 民話でまちおこしを行う星の会主催 「あめっかぜ」風のステージ

今年で結成43年目となるフォークコーラスグループ「あめっかぜ」のコンサートが6月30日、「宿のやかた」(前田沢)で行われ、町内外から約50人が訪れました。民話でまちおこしを行う「星の会」(成原千枝代表)主催。この日デビューの新メンバーを加え、あめっかぜは現在16人で活動中です。お揃いのシャツ姿で登場し、町の暮らしや自然などを題材とした楽曲、それに誰もが知っている懐かしい歌謡曲を披露。緑の庭を背景に爽やかな歌声で来場者を楽しませました。



◀お母さんと協力して箸作り
▼食事の後は、外国のテー
ブルゲームで盛り上がった



6/23 竹を削って、箸と器を手づくり 「涼」を味わう流しそうめん

6月23日、西部公民館が主催するいもがわ少年教室「流しそうめんとみんなでゲーム大会」がゲストハウス松本亭一農舎(常盤)で行われ、西部地区の小学生とその家族など約20人が参加しました。

まずは同敷地内の竹林から切り出した竹を利用し、箸とつゆ用の器をみんなで手づくり。保護者の皆さんと協力しながら、小刀を器用に使って削りました。続いて竹の流し台を組み立てたら、お待ちかねの流しそうめん。冷たい水とともにそうめんやさくらんぼが流れると、子どもたちは「つめたい!」「面白い」と歓声を上げながら口いっぱい頬張り、初夏の「涼」を味わいました。

お腹がいっぱいになった後は、室内でゲーム大会を実施。サイコロで出た色のスティックを引き抜き、倒した人が負けになる「スティッキー」という外国のゲームなどで大いに楽しみました。



◀西山杉のできた立派なベン
チは、早速みんなの憩いの場

6/6 やまがた緑環境税を活用して作った手づくりベンチ 西部公民館に西山杉のベンチを寄贈

6月6日、三中地区グラウンド・ゴルフ愛好会(佐竹庄吉代表)による西山杉のベンチづくりが行われ、出来上がったベンチ4台が西部公民館に寄贈されました。材料費に県民税の一部として年間1人当たり1,000円が徴収されている「やまがた緑環境税」を活用。西山杉の普及と、利活用促進の取り組みとして、同愛好会有志がベンチの組み立てを行いました。ベンチは既に同敷地内に設置されています。



▶「花と緑・環境の会」朝日町代表と
して登壇した高取のぶ子さん(西町)



6/16 美しい自然を守り、次の世代へ 環境講演会「今ある環境を次世代へ」

6月16日、花と緑・環境の会(遠藤かつ彥代表/長井市)が主催する講演会「今ある環境を次世代へ」が創遊館で行われました。乳酸菌や光合成細菌などの有用微生物群(EM)を活用し、地域の環境美化活動などに取り組む同会。その会員および県内外で同様の活動を行う先進団体関係者が登壇し、日頃の活動や実践事例を発表しました。また、EM提唱者で琉球大学名誉教授である比嘉照夫氏が講演。参加者は熱心にメモを取っていました。

岩崎孝彦氏 朝日町立病院に絵画等 21 点を寄贈

5月22日、岩崎孝彦さん（高田）が約15年をかけて描いてきた絵画や趣味のスケッチ作品が、朝日町立病院に寄贈され、来院された方々の目を楽しませています。

平成13年に、1ターンの東京都から当町へ、ご夫婦で移住された岩崎さん。町の自然に惚れ込み、里山を活用した地域イベントへの協力や俳句会の主催など、多彩な活動で地域づくりに貢献してきました。

この度寄贈された絵画は、主に朝日町の風景や街中の蔵などを描いた作品で、大型（870センチ×670センチ）4点のほか合計21点。「病院には患者さんだけでなく年間約4万人の方が訪れます。町の豊かな自然や街並みを描いた岩崎さんの作品を展示できるのは大変ありがたく、来院される皆さんも興味深くご覧になっています」と朝日町立病院の小林達院長。

岩崎さんの絵画は現在、受付・会計待合ホールのほか、病棟面会室、個室病室などに飾られています。町立病院にお越しの際は、ぜひご覧ください。



▲病院の玄関口である受付ロビーに展示してある「一の崖と最上川」
▲町の自然や各地区に建つ「蔵」など心む風景を題材に描かれている

7/3

平成30年度 町小学校水泳記録会

町小学校水泳記録会が7月3日、町民プールを会場に行われ、町内3小学校の5・6年生104人が出場しました。各校選抜のメドレーリレーと200mリレーのほか、児童たち1人ひとりが自分の得意種目にエントリー。日頃の練習の成果を発揮し、自己記録の更新にチャレンジしました。当日は最高35度を超える真夏日。水温も高い中、最後まで諦めずに精いっぱい泳ぎ切りました。競技の最初と最後を飾ったリレーは応援合戦も大いに盛り上がり、ゴールしたすべてのチームに大きな拍手が送られていました。



5年男子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	阿部友大(宮)	38秒7	長岡 翼(大)	阿部悠太(西)
50m平泳ぎ	海野我空(宮)	1分1秒3	阿部太陽(西)	布施悠貴(西)
50mバタフライ	梅津知樹(西)	1分16秒7	白田 玄(大)	—
50m背泳ぎ	佐久間淳乃介(大)	1分1秒3	西澤 峻(宮)	長岡幸輝(西)

5年女子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	峯田七奈(宮)	37秒7	海野結菜(宮)	伊藤麗来(宮)
50m平泳ぎ	白田夏希(大)	1分0秒3	浅岡亜美(宮)	—
50m背泳ぎ	佐藤結菜(宮)	54秒3	佐久間陽菜乃(大)	菊地 舞(宮)

6年男子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	長岡大聖(西)	39秒2	堀 龍空(宮)	松尾康太(宮)
50m平泳ぎ	海藤 珀(西)	53秒0	佐直聖那(宮)	岸 夏輝(大)
50mバタフライ	阿部佑太(宮)	54秒6	—	—
50m背泳ぎ	滝川 壯(宮)	51秒2	白田皓聖(大)	—
100m自由形	渡邊 優(大)	2分2秒9	菅井遥斗(宮)	渡邊陽佑(宮)
100m平泳ぎ	千葉寛明(宮)	1分54秒8	—	—
100mバタフライ	佐藤涼介(大)	2分19秒1	—	—
100m背泳ぎ	長岡丈裕(西)	2分3秒7	—	—
200m個人メドレー	鈴木明空(大)	4分25秒6	—	—

6年女子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	三橋綾菜(宮)	45秒3	大竹 紬(宮)	佐竹紫音(宮)
50m平泳ぎ	峯田結羽(宮)	54秒3	渡辺咲花(宮)	—
50mバタフライ	白田依音(大)	1分5秒1	—	—
50m背泳ぎ	小松萌姫(西)	56秒1	設楽みらい(宮)	伊藤遥香(宮)
100m自由形	熊谷帆香(宮)	1分20秒5	小嶋愛桜(大)	佐藤 奏(宮)
100m平泳ぎ	成原結愛(宮)	1分56秒1	—	—
100m背泳ぎ	堀 光姫(大)	2分0秒4	志藤桃花(大)	—

200mメドレーリレー	1位	記録	2位	3位
男子	宮宿 A	3分11秒8	西五百川 A	大谷 A
		(宮宿 A の選手 … 滝川 壯、千葉寛明、阿部佑太、堀 龍空)		
女子	宮宿 A	3分04秒4	大谷 A	宮宿 B
		(宮宿 A の選手 … 峯田七奈、成原結愛、熊谷帆香、三橋綾菜)		

200mリレー	1位	記録	2位	3位
男子	宮宿 A	2分48秒2	西五百川 A	大谷 A
		(大谷 A の選手 … 阿部友大、堀 龍空、阿部佑太、千葉寛明)		
女子	宮宿 A	2分45秒2	宮宿 B	大谷 A
		(宮宿 A の選手 … 熊谷帆香、峯田七奈、成原結愛、三橋綾菜)		

各種大会の成績 : ★印は県大会出場

■第24回西村山陸上競技選手権大会 (6月3日/寒河江高校グラウンド)

- 【小学生男子の部】
 - ▼1位: ジャベリックボール投げ 滝川 壯(宮宿) ★
 - ▼2位: ジャベリックボール投げ 白田皓聖(大谷) ★
 - ▼3位: 1000m 堀龍空(宮宿) ★
 - ▼4×100mリレー 宮宿(鈴木連音、堀龍空、佐藤翔太、滝川 壯) ★
- 【小学生女子の部】
 - ▼1位: 3・4年女子60m 長岡花(大谷) ★
 - ▼2位: 1・2年60m 成原莉瑚(宮宿) ★
 - ▼3位: 800m 峯田結羽(宮宿) ★
- 【高校一般男子の部】
 - ▼2位: 1500m 長岡恵汰(大谷五ノ谷地高校) ★
 - ▼5位: 4×100mリレー 谷地D(長岡恵汰ほか3名)
- 【高校一般女子の部】
 - ▼2位: 走り幅跳び 白田怜蘭(大谷三ノ谷地高校) ★
 - ▼3位: 4×100mリレー 谷地高B(白田怜蘭ほか3名)

■西村山中学校総合体育大会 (6月16日~17日/各会場)

- 【団体戦】
 - ▼1位: 剣道男子 ★
 - ▼2位: 野球
 - ▼3位: バスケットボール男子、バスケットボール女子、卓球男子、卓球女子、柔道女子
- 【個人戦】
 - ▼1位: 柔道女子63kg級 若月保歩 ★
 - 柔道男子66kg級 若月真都偉 ★
 - ▼2位: 剣道女子 清野凜華 ★
 - 卓球女子 菅井愛未 ★
 - 柔道女子52kg級 佐竹明
 - 柔道男子55kg級 阿部嵐
 - ▼3位: 剣道男子 藤田昂 ★
 - 柔道男子60kg級 堀俊介
 - 柔道男子50kg級 遠藤修吉
 - 水泳女子400m自由形 白田桃香

■県大会出場: 卓球男子岸優翔 ★

■西村山中学校陸上競技大会 (6月26日~27日/NDソフトスタジアム)

- 【個人戦】
 - ▼1位: 1年男子100m 志藤大地 ★
 - 男子共通4種 阿部奨悟 ★
 - 女子共通走り幅跳び 志藤侑可子 ★
 - ▼2位: 3年女子100m 志藤侑可子 ★
 - 女子共通走り幅跳び 阿部菜々子 ★
 - 男子低学年4×100mリレー(遠藤大空、阿部司、阿部春輝、志藤大地) ★
 - ▼3位: 1年女子100m 長岡桃子 ★
 - 3年男子100m 阿部凌太 ★
 - 男子共通200m 阿部悠斗、男子共通走り高跳び 阿部悠太



▲4×100mリレーに出場した宮宿男子チーム(県大会出場)と、女子チームのメンバー



協力隊の任期もあと9カ月を残すのみとなりました。あつという間に卒業の時間が近づいています。さて、今回は朝日町に来てから始めたチャレンジについて振り返ってみようと思います。

最大のチャレンジは、何と言っても「ゲストハウス松本亭一農舎」の立ち上げ。宿業は何も経験がない状態からのスタートでした。今こそ、共に活動する村山隊員に業務を教えてくださいますが、前任の水沼隊員と手探りでつくったマニュアルです。

続いては、「仕事の話はりすねでよー」と最近よく言われますので、ここからは趣味の話になります。私生活でトライした順にご紹介します。



町域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「チャレンジの町で」

移住・交流推進員(地域おこし協力隊) **阪野正義** (川西町出身)



▲飛島で「海岸ゴミ0」にチャレンジするお手伝いをしました

永遠に生きるかのように学べ」という死生観があります。人間も動物も、いつ死ぬかはわからない。だから人生を濃く生きるチャレンジをしているのです。やる時はどれも楽しみながら！

まずは31歳からのピアノ。親にせがんでも習わせてもらえなかった子どもの頃から、20年越しのチャレンジです。1年半経ってようやく1曲弾けそうになってきました。次は、ゲストハウスが開業してから不動産関係の勉強を開始。「空き家管理士」の資格を取得し、現在「宅地建物取引士」に挑戦中です。空き家の有効活用を目標んでいます。

運動では、ボルダリングを始めました。競技へのチャレンジと健康づくりも兼ねて、昨年末から週1くらいで通っています。町の方と一緒に通う時もあるんです。そして春からは英会話も始めました。先日モンゴルの留学生と交流した際や、飛島で旅するフランス人と会った時など、早速役に立ちました。海外から山形に来るのだから、やはり皆エネルギーに満ち溢れています。

私の挑戦の根幹は、実は「死」です。ガンジーの言葉に「死に死ぬかのように生きる。永遠に生きるかのように学べ」という死生観があります。人間も動物も、いつ死ぬかはわからない。だから人生を濃く生きるチャレンジをしているのです。やる時はどれも楽しみながら！



▲自慢のパンを並べる遠藤さん ▼店名の由来となったパンブール



夢を叶え、町で初めてのパン屋をオープン

「パン屋 Boule」**遠藤夏美** さん (栗木沢)



大江町方面から道の駅あさひまちへ向かう国道287号線沿いに、今年3月、町で初めてのパン屋さんがオープンしました。店主は「飲食店を営みたい」と夢を持ってUターン起業した遠藤夏美さん。お店を構えるまでの経緯や、パン作りへの思いについて伺いました。

のパン屋を渡り歩いて修行。働きながら起業資金を貯め、夢を膨らませてきました。また、Uターンした経緯については、「いつかはふるさとに帰ろうという思いがずっとあったから」と話します。

念願のお店は、母が経営する飲食店の隣に建つ納屋を改装。友人や町商工会から助言があり、町の創業支援事業費補助金および空き家改修に係る補助金を活用しました。「ある程度貯金はしてきましたが、起業するには何かと物入りです。こうした支援があって、心に少し余裕が持てました」

命名に苦心したという店名の「Boule(ブール)」は、フランス語で「丸い」や「ボール」を表すパンの名前から。パン職人を表すブーランジェの語源にもなっており、遠藤さんはそれらから「初心忘れず、また、丸い形のように良いご縁が広がっていくように願いを込めた」と言います。

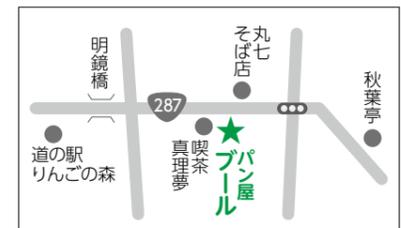
「とにかく自分がおいしいと思うものを作る」ことが初心であり、こだわり。小麦粉8種類をパンによってブレンドを変えているほか、修行時

代に覚えてきたレシピを独自にアレンジして1日約50種類ほどのパンを焼いています。

オープンから数カ月、早くもファンが付き、「思った以上にたくさんのお客さんに来ていただいている」と遠藤さん。「もちろん日によってバラつきがあるので、商品の調整は難しいけどそれも楽しい」と笑い、「これからも色々なパンに挑戦して、お客さんが笑顔になれるお店をつくってきたい」と意気込みを語っていました。

【パン屋 Boule】

- ▶営業時間 午前10時～午後7時 ※パンがなくなり次第終了
- ▶定休日 月曜日
- ▶問合せ先 ☎0237-85-1360
- ▶地 図 (朝日町大字玉ノ井丙114-1)



「母が町で飲食店を営んでいて、自分も自然と、将来は『食べ物のお店を開きたい』と考えていました」

夢を持つきっかけをこう話す遠藤さん。その目標通りに調理科のある高校へ進学し、まずは調理師免許を取得。製菓の道を志し、県内のレストランに就職して就学資金を貯め、その後1年間専門学校に通いました。

「専門学校卒業後は、東京都のレストランにパティシエとして入りました。そこでパン作りに携わることがあり、いつしかそちらの方が楽しくなってきた。それじゃあ『パン屋をやろう』と決めたんです」

もともと行動派の遠藤さん。経験は多い方が良いと、約4年間で3軒

町立図書館新刊案内

「道宝箱はささやく」

長岡 弘樹 著



緻密な伏線、鮮やかな切れ味、驚きと余韻の残る結末…。短編の名手が挑む、原稿用紙たった20枚の世界。ミステリーの醍醐味が味わい尽くせる全18編を収録する。著者は山形市在住。

町出身絵本作家 最上平さん最新作 「ひきがえるにげまん」

最上 平 作 / 武田美穂 絵



ひきがえる、死んでどこに行けたの？ 死ななかつたの？ 何をしたらよかったの？ 学校の帰り道で、べっちゃんこのひきがえるを見つけたのんちゃんたちは…。「いのち」と「死」について考えはじめた子どもたちの物語。

【その他の新刊】

- ▼恋の川、春の町 / 風野真知雄
- ▼青嵐の坂 / 葉室麟
- ▼長兵衛天
- ▼龍太郎 / 山本一力
- ▼平城京 / 安部龍太郎
- ▼ファーストラブ / 島本理生
- ▼ミルク・アンド・ハニー / 村山田佳
- ▼六月の雪 / 乃南アサ
- ▼世界の難民をたすける30の方法 / 滝澤三郎
- ▼世界を変えた14の密約 / ジャック・ペレット
- ▼未来 / 奏かなえ
- ▼大家さんと僕 / 矢野龍太郎
- ▼血管&脳が若返る！ / 水原五
- ▼簡単レシピ / 石原新菜
- ▼怪しくて妖しくて / 阿刀田高
- ▼偽姉妹 / 山崎ナオコ
- ▼インターゾーン / ハンドブック / シェイン・クーン
- ▼5時過ぎラン
- ▼チノ田美介 / 子どもの心を持つ親が病気になる時に読む本 / ポーランド / 手づくり健康食品
- ▼健康美食ラボ
- ▼絶望キャラメル / 島田雅彦
- ▼真夜中の子ども / 辻仁成
- ▼嘘みあわない会話と、ある過去について / 辻村深月
- ▼火花散る / あさのあつこ



【ブックテマコーナー】 「海の日」・「山の日」特集 ～夏だ！山・川へ出かけよう！～

戸籍のまど

Asahi town

6月1日～6月30日届出

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	長岡 奏 <small>かなた</small>	男	和弥・彩
中沢	堀 陽 <small>はる</small> 瀬	女	隼聡・瑞生

Marriages

おしあわせに

清野 聡志
(送 橋)



海野 しずか
(西船渡)

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
西原	阿部 マスエ	栄次郎
前田	倉澤 哲郎	美津子
西原	阿部 ひで	啓一
大谷	大谷 實	浅二
四ノ	清野 美恵	豊春
太郎	長岡 ミワ	正雄
栄町	鈴木 キヨ	誠一
西船	峯田 勝雄	雄一郎
大町	多田 積	秀人
大谷	堀 幸子	修一

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●平成30年 6月30日 現在

※()内は先月比

人口	6,942人 (-25)
男	3,440人 (-9)
女	3,502人 (-16)
世帯数	2,426世帯 (-6)

----- 6月中の異動 -----

出生	3人	転入	5人
死亡	13人	転出	20人

(※外国人を含む)

こないのリンゴさん

(303)

ホリイ



「朝日町鳥獣被害対策実施隊」活動日誌



○「くくりわな」講習会を実施 (6月20日)

近年増加するイノシシ被害に対応するため、より効果的な「わな設置」について習得する「くくりわな設置実技講習会」を行いました。

鳥獣被害対策には、①誘因除去②防護③捕獲の3点の徹底が重要です。実施隊員は、「農家の方々が丹精込めて作った農作物を荒らすイノシシ。私たちの捕獲活動で被害を少しでも減らせれば」と、真剣に取り組んでいました。



目指せヘルシーライフ！ 糖尿病を防いで元気に過ごそう

【平成30年度 第4回】

今月の担当 … 太田 律 健康推進係長



「透析治療をしなければならなくなった」。こう話す町民のAさん。本人もご家族も大変ショックだったと思います。Aさんは週に3回通院があり、透析後はだるくて、歩くことも入浴も困難な日もあるそうです。また、毎日の生活の中で「体重管理」や「食事制限」をしながら生活することの大変さを教えてくれました。

Aさんは、「糖尿病」の診断を受けています。糖尿病は重症化すると、糖尿病性腎症となり、透析治療が必要となります。糖尿病を患って10年以上経過している方の約20%が腎症に陥ると言われ、日本では新規人工透析導入者の約40%が糖尿病性腎症です。重症化を防ぐためには、とにかく早期発見が重要です。

町では、糖尿病による透析治療者がこれ以上増えないように「糖尿病重症化予防事業（ヘルシーライフ教室）」を実施しています。今年も、運動指導のメニューを町と提携を結ぶミラノ(株)を委託し、年8回のプログラムで実施します。先日第1回目が開催され、まずは体力測定等を行いました。全日程終了時には、血糖値減少につながる日々の運動について、多くの学びが得られているようです。また、6月29日には、町立病院の小林院長先生から糖尿病予防についての講話をいただきました。日常生活の中で少しでも体を動かすこと、暴飲・暴食は控えることの大切さを確認しました。

▼健康福祉課 健康推進係
☎67・2116

◆ヘルシーライフ運動教室
8月7日(火)
午後1時30分～3時
「室内簡単体操」：創遊館
9月10日(月)
午前9時30分～正午
フルディックウォーキング
：秋葉山交遊館

町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【おすすめの季節】釣りが川遊びが楽しめる6月～8月初旬。8月を過ぎるとアブが増えるのでご注意ください

第13回 朝日川河川公園

【DATA】宮宿から県道白滝・宮宿線に入り約8km、立木地内の朝日川右岸県道脇に設置されている

昭和50年頃、朝日川の河川改修が行われた際に、河川敷内に造られた公園広場です。町が管理をして、水場やトイレが整備されており、川遊びや芋煮会など、最も朝日川と親しめる場所になっています。

8月の第1日曜日に行われる「朝日川溪流まつり」は、毎年大勢の来場者で賑わいます。朝日川での川遊びは「コシジロアブ」が出来る8月初めまで楽しめますが、河川公園は周りに林がないため、比較的にアブは少ないようです。

今年の溪流まつりは8月5日(日)に開催される予定で、今年で36回目なんだって。まつりのメインイベントである「大つかみどり大会」は、朝日川をそのまま利用した浅瀬で行われ、放流されたイワナやヤマメ、ニジマスなどを手でつかみどりするんだ。つかまえた魚は会場で調理し、焼き魚にして食べることができるんだよ。

案内人のつぶやき





4 ASAHITOWN with MIZUNO APPLE MEET MARATHON & WALKING

あさひまち アップルミートマラソン&ウォーキング

10月20日(土) 開催

～ エントリー大募集!～

クォーターマラソン

10.5km

ウォーキング

7.5km

10月20日、今年も町に真っ赤なりんごが実る季節に、「あさひまちアップルミートマラソン&ウォーキング with MIZUNO」を開催します。

人と人との「出会い」とおもてなしを大切に、町ならではのスポーツイベントとして始まり今年で4回目。今回は「無袋ふじ栽培発祥の地」である和合地区をメイン会場として、コースを大幅リニューアルしました。最上川沿いに広がるりんご畑を横目に眺めながら、クォーターマラソン 10.5キロ、ウォーキング 7.5キロを楽しく走って(歩いて)みませんか。もちろん給水ポイントおよびゴールでは、町特産のりんごが食べ放題とおいしい特典も満載です。多くの皆さまからのエントリー&応援をお待ちしています!

大会申込みについてはこちら



▶参加資格

①マラソン…高校生以上 ②ウォーキング…小学生以上

▶参加料

①マラソン…高校生:2,000円、一般:3,000円
②ウォーキング…高校生:1,500円、一般:2,000円、ファミリー(親子ペア)3,000円

▶申込締切 8月31日(金)

▶申込方法

- ①郵送または電子メール
町ホームページから申込書をダウンロードのうえ、下記まで提出。受付後、主催者より指定口座を通知しますので、参加料をご入金ください(振込手数料自己負担)。
- ②インターネット申込み
ランネット (<http://runnet.jp/>) を通して必要情報を入力し、申込んでください。※無料会員登録が必要です。

▶問合せ・申込み先

〒990-1442 山形県西村山郡朝日町大字宮宿 1115
朝日町マラソン&ウォーキング実行委員会事務局
(朝日町政策推進課内)

☎0237-67-2111

平日 8:30~17:15

✉brand@town.asahi.yamagata.jp

スポーツランド



※本事業はスポーツ振興くじ助成を受けて開催予定です。

▶朝日町ホームページ
申込書ダウンロード、大会要項、コースの詳細はこちら



▶大会 face book
受付状況や大会準備の様子を随時更新していきます



人は「おいしい給食」へのこだわりがずばらしいです。
小学生くらいだと好き嫌いも当然ある筈ですが、給食だと不思議と食べることができました。その理由について、味付け等の工夫も然ることながら、「みんなで一緒に食べるからおいしいんだよね」と調理師の皆さん。過去の体験は「良い思い出」になり、おかげで今では立派な食いしん坊に成長しました。近頃は食べ過ぎて体重が気になります…。
村山 彩

春夏秋冬 編集後記

おいしい給食は
良い思い出に

小学校の頃大好きだった給食の「わんたんスープ」。今も健在で人気の献立と聞いて、取材中テンションが上がりました。今号は、みんな大好き学校給食の特集です。
町で完全給食が始まって以来ずっと、小学校ではすべての学校に調理室を置く単独調理場方式が採られています。現在は閉校となったところの分校では、なんと焼きたての手づくりパンが食べられることもあったとか。今も昔も、町の調理師の皆さま